2022 年度（令和 4 年度）入学生適用

地域生態システム学科

パッケージ・プログラム

履修ガイド 2022

この履修ガイドの内容は学科ポータルサイトでも閲覧できます。

◆ ◇ ◆　目　　次　◆ ◇ ◆

Ⅰ．地域生態システム学科の教育システムについて 1
１．学科の教育と特徴 1
２．履修方法 1
(1)パッケージ・プログラムとは 1
(2)本学科の履修プログラム 1
(3)コースツリーについて 3
３．地域生態システム学セミナー、地域生態システム学特別演習Ⅰ～Ⅲおよび卒業論文の履修 3
(1)地域生態システム学セミナーおよび教育研究分野の所属決定 3
(2)地域生態システム学特別演習Ⅰ～Ⅲ 4
(3)卒業論文の履修方法・要件 4
(4)本学科の教育研究分野 4
４．取得できる資格など 5
コースツリー 6
Ⅱ．地域生態システム学科教育課程表 7
Ⅲ．パッケージ一覧 10
Ⅳ．授業科目と履修プログラムの対応 11
Ⅴ．履修プログラム概要 14
１．生態系保全プログラム 14
２．森林科学プログラム 15
３．農業環境工学プログラム 16
４．共生持続社会プログラム 17
５．人と動物の共生プログラム 18
６．地域資源とガバナンスプログラム 19
７．地域防災・復興プログラム 20

Ⅰ．地域生態システム学科の教育システムについて

１．学科の教育と特徴

地域生態システム学科では、森林と田園や公園、農山村と都市など空間や関係性を一つの連続した「地域」として捉え、その地域に広がる生態系や人間の関わりに着目した、新しい教育研究を行っています。

具体的には、都市、田園、農地、森林、河川や、そこに生きる野生生物などの地域資源と人間の関わりについての基礎的教育をベースに、人と自然が共生し、持続可能な生産・資源管理を行うための計画・設計・管理手法に関する教育、人々が快適にくらし、持続可能な新しい産業を生みだすためのシステムを発展させる教育を行います。また、近年社会的ニーズの高い、地域における政策立案や環境評価、地域連携・国際協力のあり方などについて総合的に理解し、それぞれの地域で主体的に活躍できる人材の育成を目指しています。

こうした理念を達成するため、関連するさまざまな知識や技術を基本的な素養として身につけて、地域社会の中で実際に応用できる能力を開発していくことが本学科の教育目的となります。すなわち、本学科の教育課程は、1年次には学科共通科目を中心に基礎的な専門教育を行い、2年次から学生自身が演習や実験・実習などを含む専門科目を選択することで、その関心や希望する進路に沿って専門的な学習を深められるようにできています。また、3年次からは皆さんが興味を持った教育研究分野を選び、指導教員のもとで卒業研究を行い、4年次の所定の期日にその成果を発表します。

２．履修方法

(1) パッケージ・プログラムとは

本学科では、学科専門科目を組み合わせた独自のパッケージ・プログラム制による教育を行います。パッケージとは、複数の授業にまたがる内容を系統的に学ぶことを容易にするため、いくつかの講義科目と実験・実習・演習科目を一組にしたものです。プログラムは、これらのパッケージを基本単位として積み上げ（基本パッケージ）、それらに関する学習の理解を広げる推奨科目を加えて構成されています。基本パッケージ科目と推奨科目の履修指定はプログラムごとに異なりますが、指定された要件を満たすとそのプログラムを修了したと認められ、本学科の卒業と同時にプログラム修了認定証が授与されます。

(2) 本学科の履修プログラム

本学科には、学科の教育内容の根幹をなす4つの主プログラムと、分野横断的な3つの副プログラムの全部で7つのプログラムがあります。プログラムは、現実に生じている地域の複雑な問題を多様な視点から捉え、的確に対応できる人材を養成するため設けたもので、社会の多様なニーズに応えるとともに、皆さんの将来の進路・職業選択にも役立つように設計されています。

学生は2年次後期に、プログラムの中から1つ以上（主プログラム1つを含む）を選択し、卒業

するまでの間に各プログラムで指定された科目を履修します。プログラム選択については、2年次前期の「地域生態システム学Ⅲ」で具体的に説明します。

(主)**生態系保全プログラム**
自然生態系の保全と管理に関わる諸問題の現場解決能力(情報収集、解析、デザイン)を養うと同時に、自然環境保全、野生生物管理を実践する専門家の養成を目指す。さらに、大学院自然環境資源コース等での高度な専門人材育成のための基礎を育む。
(主)**森林科学プログラム**
森林と森林環境の創造および設計ができる森林・林業の知識と技術を修得し、森林をとりまく諸問題の現場解決能力(情報収集、解析、デザイン)を養うと同時に、森林を様々な側面から理解できる豊かな人間性と国際感覚を養成するための教育を行う。さらに、大学院自然環境資源コース等での高度な専門人材育成のための基礎を育む。
(主)**農業環境工学プログラム**
都市・農村における生産環境、自然環境、生活環境の調和を図る地域環境整備、及び生産性向上と環境保全を同時に解決する持続的食料生産システム構築を担う農業環境工学の専門家養成を目指す。さらに、大学院食農情報工学コース等での高度な専門人材育成のための基礎を育む。
(主)**共生持続社会プログラム**
地域の社会・経済・文化・歴史に関する人文社会科学的な調査・分析の能力を身につけると同時に、人と自然、人と人との共生についてビジョンを描く豊かな思考力と想像力を養成するための教育を行う。さらに、大学院地球社会学コース等での高度な専門人材育成のための基礎を育む。

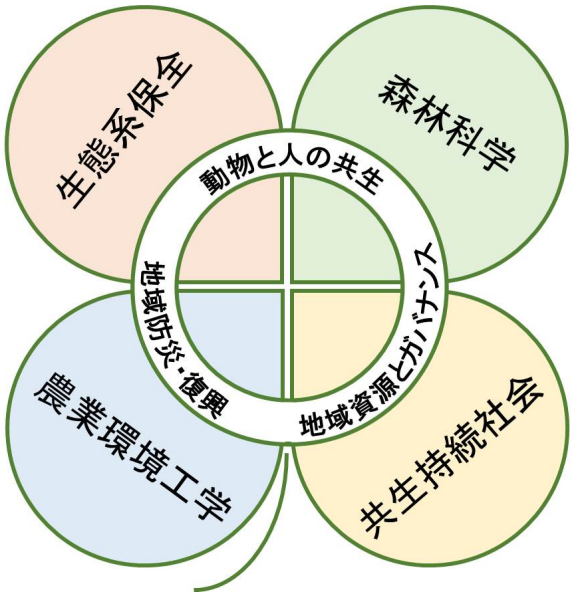
(副)**人と動物の共生プログラム**
人の生活圏から離れたところに生活する野生動物の保護管理、飼育動物など人の生活圏の中にある動物との関係性の再認識等を通じて、動物と人との共生社会の実現を担う人材の育成を目指す。
(副)**地域資源とガバナンスプログラム**
地域における生態系と社会の持続可能性の維持のためには、様々な主体の合意のもとに自然資源管理計画・景観計画・土地利用計画・地域振興計画を策定し、様々な主体の連携・共同によって諸政策を実行する能力が必要となる。そのために地域の持つ歴史的・文化的・生態的特性を認識し、ガバナンスの各過程を主導的に担う人材の育成を目指す。
(副)**地域防災・復興プログラム**
大震災、台風や集中豪雨などによる自然災害に対し脆弱な地域社会において、災害に強く、被災後に社会機能の回復が速やかに進む地域構築のために、自然科学および社会科学の素養をもち、専門的知識を横断的に展開できる広い視野と実行力をもつ人材の育成を目指す。

(3) コースツリーについて

本学科での授業科目の履修の流れを模式的に示したものがコースツリーです(P. 6 参照)。

授業科目は教養科目、専門科目(学部共通専門基礎科目，学科専門科目，学部共通専門科目)があり、学科専門科目には学科共通科目とパッケージ科目・推奨科目があります。教養科目、学部共通専門基礎科目の多くは1年次、2年次に開講され、学科専門科目を履修するための基礎や、専門に直結する教養を身につけます。学科専門科目のうち、学科共通科目と多くのプログラムで共通する授業科目は、教養科目、学部共通専門基礎科目と並行して1、2年次に履修できるようにカリキュラムが作られています。より専門性の高い学科専門科目は2年次以降に開講されます。3年次後期からはゼミ形式の「地域生態システム学特別演習Ⅰ～Ⅲ」を履修し、4年次終了までの間に卒業研究を行います。希望する場合は卒業論文を作成することができます。

各プログラムのつながりイメージ



＊主プログラムの修了を優先することを推奨しています。

３．地域生態システム学セミナー、地域生態システム学特別演習Ⅰ～Ⅲおよび卒業論文の履修

(1) 地域生態システム学セミナーおよび教育研究分野の所属決定

3 年次前期に開講される「地域生態システム学セミナー」は、地域生態システム学の様々な研究領域を知り、自分の専門分野を方向づけるための科目です。学科教員全員が学科の理念に基づいてどのような活動をしているかについて紹介します。履修にあたっては、2 年次終了時点で卒業に必要な単位のうち56 単位以上(教養科目および学部共通専門基礎科目は27 単位以上、学科共通必修科目は 7 単位(情報処理学を除く)、パッケージ科目・推奨科目および実験・実習科目は 22 単位以上)を修得していなければなりません。ただし、3 年次編入学生、転学科生等にはこの基準を適用しません。

また、3 年次後期より始まる「地域生態システム学特別演習Ⅰ～Ⅲ」に先立って指導教員を選択し，いずれかの教育研究分野に所属する必要がありますが、「地域生態システム学セミナー」の

履修要件を満たしていないと指導教員の選択はできません。なお、施設設備・教員数等による制約から、各教員が指導可能な学生数には上限が設けられています。教員あたりの受け入れ学生数は、原則として上限 3 人としています。ただし、年度毎に諸事情によって受け入れ数が 2 名の場合、あるいは受け入れられない場合があります。希望者が上限を超過した場合は、最終的に GPA の上位者が優先されることがあります。3 年次の前期に指導教員選択についてのガイダンスを開催し、具体的に説明します。

(2) 地域生態システム学特別演習Ⅰ～Ⅲ

本学科では、さまざまな教育研究分野の教員が共同で授業を担当しています。学生は、3年次の後期から教育研究分野のいずれかに所属して,「地域生態システム学特別演習Ⅰ～Ⅲ」を履修します。この特別演習は、所属した教育研究分野でのゼミを通して学生が主体的に進める卒業研究です。学生は、その卒業研究の成果を4年次後期の所定の期日に発表します

(3) 卒業論文の履修方法・要件

自ら進めてきた卒業研究を論文の形でまとめることを希望する学生は、4年次の後期に「卒業論文」を履修することができます。卒業論文は原則として所属する教育研究分野の指導教員のもとで作成して提出します。4 年次の前期に卒業論文履修のためのガイダンスを開催し、卒業論文の履修方法・要件について具体的に説明します。

(4) 本学科の教育研究分野

本学科を卒業し、専門分野についてさらに深く学ぼうとする学生は、本学大学院（修士課程）を受験することができます。本学科の教育研究分野と、関連する大学院の専攻は次のとおりです。

地域生態システム学科 教育研究分野	大学院（修士課程） 関連する専攻・コース
景観生態学、野生動物保護管理学、植生管理学、健康アメニティ科学、森林土壌学、森林生物保全学、森林水文学、森林環境工学、森林計画学、森林利用システム学、森林資源管理学、森林－水圏生態学、樹木生理生態学、FS センター野生動物保護管理	農学専攻 自然環境資源コース
生産環境制御学、地水環境工学、農村地域計画学、農業情報工学、水資源計画学、地域空間情報学、施設構造工学	農学専攻 食農情報工学コース
環境哲学、環境倫理学、農村社会学、環境文化史、環境公法、国際関係学、環境情報科学、環境教育学、共生福祉論	農学専攻 地球社会学コース
水利環境保全学、環境地域社会学、農薬動態学、流域環境修復保全学、乾燥地環境農学、国際生物生産資源学	農学専攻 国際イノベーション農学コース
土壌生態管理学	生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム科学専攻 （博士前期課程）

４．取得できる資格など

地域生態システム学科の所属学生または卒業生は次のような資格を得ることができます。その取得要件を示します。なお、取得内容の詳細は変更の可能性があります。入学後は、随時詳しい情報をお知らせしています。

①測量士・測量士補

農業環境工学プログラムもしくは森林科学プログラムの修了と、別に定める科目群から所定の単位数を取得した者は、測量士補の国家資格が国土地理院への申請によって得られます。さらに1年間以上の測量実務経験により、測量士の国家資格が得られます。なお、別に定める科目群については現在認定中ですので、確定次第周知します。（窓口教員：松本　武）

②ビオトープ管理士資格試験の筆記試験一部免除

指定された科目を履修しているか、年度内に履修見込みの場合、資格試験科目の受験が一部免除されます。ビオトープ管理士資格試験の詳細は財団法人日本生態系協会のホームページ（http://www.ecosys.or.jp/）で確認してください。なお、該当する講義科目は別に定められています。（窓口教員：小池伸介）

③樹木医補

農学部の教育課程を修め、かつ樹木医に関わる講義分類8分野から6分野以上を選び14単位以上の履修、かつ、実験・実習において4科目を履修した者は、樹木医補の資格が得られます。さらに1年間以上の実務経験を経て樹木医の受験資格が得られます。なお、該当する講義科目および実験・実習科目は別に定められています。（窓口教員：吉田智弘）

④自然活動体験リーダー

「インタープリテーション技術」を履修して最後の確認試験に合格し、所定の登録手数料を支払うことで全国体験活動指導者認定制度の「自然体験活動リーダー」の資格を取得できます。本資格の詳細は、NPO 法人・自然体験活動推進協議会（CONE）のホームページ（http://www.cone.ne.jp/）で確認してください。（窓口教員：朝岡幸彦）

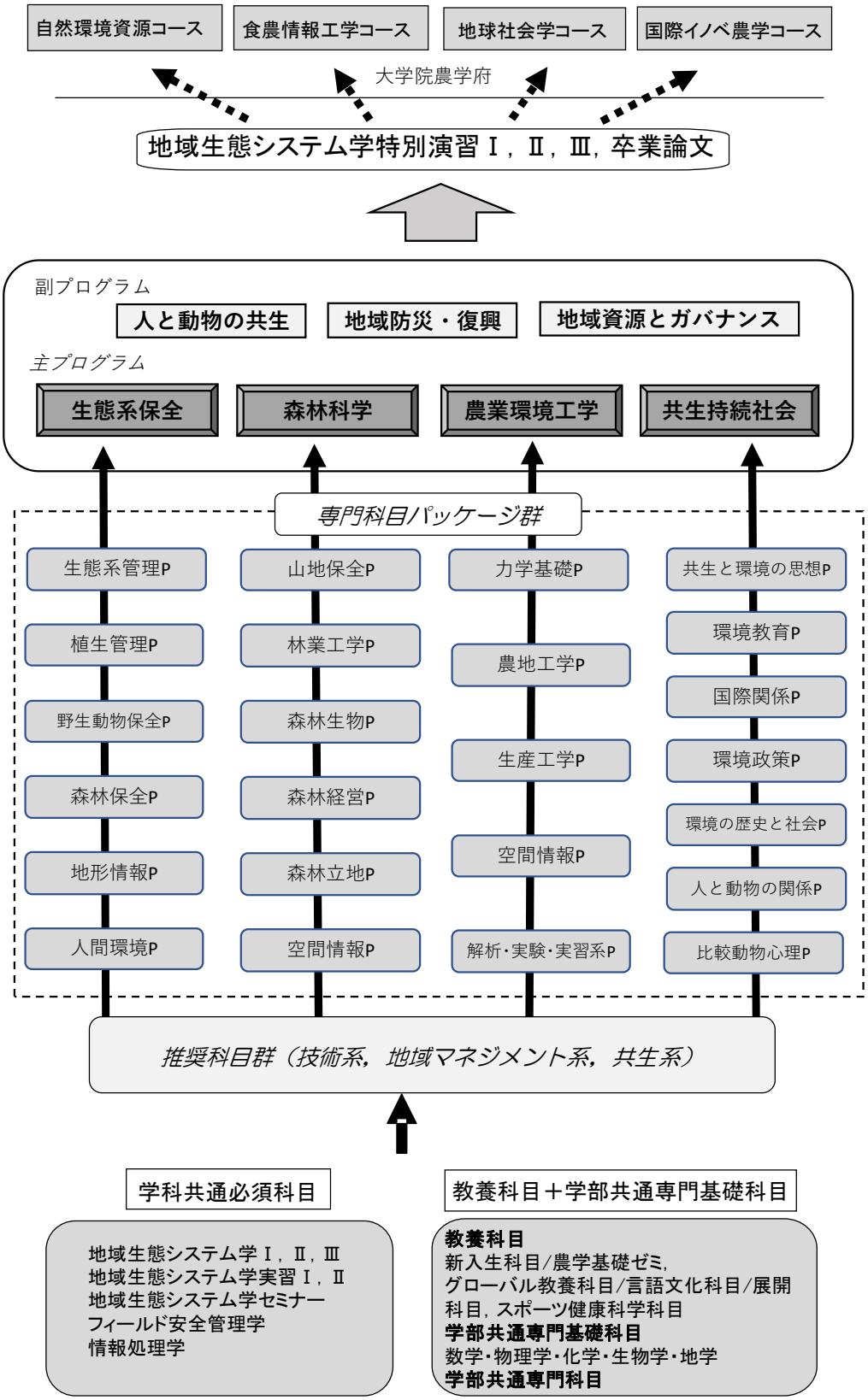
⑤森林情報士２級

森林学の一般科目および森林情報士部門別科目を所定の分野および単位数を習得した者は、森林情報士2級の資格が得られます。さらに2年間以上の実務経験を経て森林情報士1級の養成研修の受講資格が得られます。なお、該当する講義科目および実験・実習科目は別に定められています。（窓口教員：松本　武）

⑥自然再生士補

「自然再生士」は、自然再生に必要な知識・技術・経験を有する、自然再生の推進者です。自然再生に係る事業全体を把握し、調査・計画・設計・施工・管理の、各々の事業段階において行われるべき業務や活動において、これらをコーディネートして自然再生を実行します。地域生態システム学科は、自然再生士補資格養成機関として認定され、所定の科目の履修状況によって、自然再生士補の認定を受けることができます。（窓口教員：吉川正人）

コースツリー



地域生態システム学科コースツリー

Ⅱ．地域生態システム学科教育課程表

◎印の必修科目 14 単位を含めて 68 単位以上履修すること。

区分	授業科目	単位数	担当教員	開講予定学期								開講形態・合併学科	履修要件等
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
学科共通科目	地域生態システム学Ⅰ	◎2	学科教員	＊									p3参照
	地域生態システム学Ⅱ	◎1	学科教員		＊								
	地域生態システム学Ⅲ	◎1	学科教員			＊							
	地域生態システム学実習Ⅰ	◎1	学科教員	＊								集中	
	地域生態システム学実習Ⅱ	◎1	学科教員		＊							集中	
	地域生態システム学セミナー	◎1	学科教員					＊				集中	
	地域生態システム学特別演習Ⅰ	◎1	学科教員						＊			集中	
	地域生態システム学特別演習Ⅱ	◎1	学科教員							＊		集中	
	地域生態システム学特別演習Ⅲ	◎2	学科教員								＊	集中	
	フィールド安全管理学	◎1	下田ほか	＊								一部集中	
	情報処理学	◎2	（非常勤）	＊									
	インターンシップ	1	学科教員（インターンシップ委員会）									2～4年次	
	卒業論文	8	学科教員									4年次後期	
パッケージ科目・推奨科目	生物多様性保全学	1	岩井		＊								
	水資源管理論	2	加藤・福田・斎藤・五味・島本		＊								
	地域社会システム計画論	2	朝岡・中島・竹本・高橋・榎本・澤		＊								
	人と動物の関係論	1	金子・小池・吉田（智）・澤・大倉		＊								
	動物福祉論	1	鈴木（馨）・（竹村）		＊							An	
	地域社会調査法	1	朝岡・竹本・榎本・澤			＊							
	バイオマス利用論	2	岩岡・大川・山田祐・千年・（非常勤）			＊						An	
	森林生態学	2	戸田・崔・小池・吉田（智）			＊							
	環境哲学	2	澤			＊							
	測量学	2	山下			＊							
	植生管理学	2	吉川			＊							
	水文学	2	白木			＊							
	環境土壌物理学	2	斎藤			＊							
	農業経済学	2	An教員			＊						An	
	動物生態学	1	岩井			＊							
	共生福祉論	2	甲田				＊						
	環境生理生態学	2	下田・福本				＊						
	野生動物保全学	2	金子				＊						
	森林計画学	2	加用				＊						
	空間情報学	2	山下				＊						
	土壌生態管理学	2	豊田				＊						
	山地保全学	2	五味				＊						
	森林生産システム学	2	岩岡				＊						
	GISの基礎と演習	2	赤坂・辰己				＊					一部集中	
	樹木学	2	崔				＊						
	力学Ⅰ	2	TP教員・（非常勤）				＊						
	土質力学	2	斎藤・（非常勤）				＊						
	水理学	2	福田				＊						
	農村地域計画学	2	中島				＊						
	農業技術論	1	帖佐				＊						
	応用解析・情報学	2	辰己・斎藤・福田				＊						
	環境文化史	2	高橋				＊						
	環境公法	2	榎本				＊						
	環境経済学	2	吉田（央）				＊						
	農業経営学	2	An教員				＊					An	

区 分	授業科目	単位数	担当教員	開講予定学期								開講形態・合併学科	履修要件等
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
パッケージ科目・推奨科目	比較心理学	1	（非常勤）					＊					
	比較行動学	1	鈴木（馨）・（非常勤）					＊					
	農村社会論	2	竹本					＊					
	健康アメニティ論	2	下田・福本					＊					
	インタープリテーション技術	2	佐藤（敬）ほか					＊					
	景観生態学	2	赤坂・小池					＊					
	動物環境生理学	1	鈴木（馨）					＊					
	リモートセンシング論	2	五味					＊					
	森林施設工学	2	松本					＊					
	砂防工学	2	白木					＊					
	農地環境工学	2	渡辺（裕）					＊					
	環境地盤工学	2	斎藤					＊				一部集中	
	生物生産環境学	1	帖佐					＊					
	農用原動機学	1	帖佐					＊				集中	
	熱工学	2	TP教員・（非常勤）					＊					
	農業情報気象学	2	辰己					＊					
	環境教育学	2	朝岡					＊					
	国際協力論	1	渡邊（司）					＊					
	農業市場学	2	（An教員）					＊				An	
	生態水理学	2	福田					＊					
	森林施業論	1	戸田・崔					＊					
	森林立地学	2	戸田						＊				
	力学Ⅱ	2	TP教員・（非常勤）						＊				
	環境倫理学	2	大倉						＊				
	野生生物保全技術論	1	金子・佐藤（俊）						＊				
	造園学	2	赤坂・（非常勤）						＊			一部集中	
	自然誌学	1	吉川						＊				
	森林保護学	1	小池・吉田（智）・戸田						＊				
	森林政策学	1	（非常勤）						＊				
	木質資源利用学	2	En教員						＊			En	
	農産プロセス工学	1	帖佐・（非常勤）						＊				
	灌漑排水工学	2	加藤・福田						＊				
	共生社会思想	1	澤						＊				
	国際農林開発論	1	及川						＊				
	ライフサイクルアセスメント	2	En教員						＊				
	環境アセスメント学	2	En教員						＊				
	持続的森林管理論	1.5	戸田・岩岡・白木・及川・小池・加用							＊			
	作物栽培学	2	An教員							＊		An	

区 分	授業科目	単位数	担当教員	開講予定学期								開講形態・合併学科	履修要件等
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
実験・実習科目	基礎測量学実習	1	白木･松本･山下			＊							
	地域社会システム調査実習	1	朝岡･榎本･澤･竹本			＊						一部集中	
	自然体験活動実習	1	朝岡･(非常勤)			＊						集中	
	植生管理学実習	1	吉川			＊	＊					集中	
	森林計画学実習	1	加用				＊					集中	
	山地測量学実習	1	白木･松本				＊					集中	
	空間情報学実習	1	山下				＊					一部集中	
	育林学実習	1	戸田･崔					＊				一部集中	
	山地保全･砂防計画学実習	1.5	白木･五味					＊				一部集中	
	樹木学実習	1.5	小池･赤坂					＊				一部集中	
	農業環境工学実験	2	TP教員					＊					
	農業環境工学実習	2	TP教員					＊					
	農村地域計画学演習	1	中島･(非常勤)					＊					
	野生動物保全学実習	1	金子･鈴木(馨)					＊				集中	
	比較行動学実験･実習	1	鈴木(馨)･澤･大倉					＊				集中	
	森林保護･樹木医学実習	1	吉田(智)･小池･(非常勤)						＊			集中	
	森林土壌学実験･実習	1	戸田･崔･吉田(智)						＊			一部集中	
	森林生産システム学実習	2	岩岡･松本						＊			一部集中	
	農業環境工学演習	1.5	TP教員						＊				
	CAD設計演習	2	中島･(非常勤)						＊				

Ⅲ．パッケージ一覧

パッケージ	講義科目				実験・実習・演習科目		
生態系管理	景観生態学	造園学	GISの基礎と演習				
植生管理	植生管理学	自然誌学			植生管理学実習		
野生動物保全	動物生態学	野生動物保全学	動物環境生理学	野生生物保全技術論	野生動物保全学実習		
森林保全	森林生態学	樹木学	森林立地学	森林保護学			
地形情報	測量学	空間情報学	リモートセンシング論	GISの基礎と演習	基礎測量学実習		
人間環境	環境生理生態学	健康アメニティ論					
森林経営	森林計画学	森林政策学	持続的森林管理論		森林計画学実習		
森林生物	森林生態学	樹木学	森林保護学	森林施業論	樹木学実習	森林保護・樹木医学実習	
林業工学	森林生産システム学	森林施設工学			森林生産システム学実習		
森林立地	森林生態学	森林立地学	森林施業論		育林学実習		
山地保全A	水文学	山地保全学	砂防工学		山地保全・砂防計画学実習		
山地保全B	水文学	山地保全学	砂防工学				
空間情報A	測量学	空間情報学	リモートセンシング論	GISの基礎と演習	基礎測量学実習	山地測量学実習	
空間情報B	測量学	空間情報学	リモートセンシング論	GISの基礎と演習	基礎測量学実習	空間情報学実習	
空間情報基礎	測量学	空間情報学	GISの基礎と演習				
力学基礎	力学Ⅰ，力学Ⅱ	土質力学	水理学	熱工学			
農地工学	環境土壌物理学	農地環境工学	灌漑排水工学				
生産工学	農業技術論	生物生産環境学	農産プロセス工学	農業情報気象学			
地盤環境	環境土壌物理学	環境地盤工学					
解析・実験・実習系	応用解析・情報学				農業環境工学実験	農業環境工学実習	農業環境工学演習
共生と環境の思想	環境哲学	環境倫理学	共生社会思想				
環境教育	環境教育学	インタープリテーション技術			自然体験活動実習		
国際関係	国際協力論	国際農林開発論					
環境政策	環境公法	環境経済学					
環境の歴史と社会	環境文化史	農村社会論					
人と動物の関係	人と動物の関係論	動物福祉論					
比較動物心理	比較心理学	比較行動学			比較行動学実験・実習		
地域計画	地域社会システム計画論	農村地域計画学	農村社会論				
社会調査	地域社会調査法				地域社会システム調査実習		
共生持続	環境公法	環境文化史	環境哲学				
地域社会	地域社会調査法	環境公法	環境哲学	農村社会論			
パッケージ外単独科目	フィールド安全管理学	情報処理学	生物多様性保全学	水資源管理論	農村地域計画学演習	森林土壌学実験・実習	CAD設計演習
	バイオマス利用論	農業経済学	共生福祉論	土壌生態管理学			
	農業経営学	農用原動機学	農業市場学	生態水理学			
	木質資源利用学	ライフサイクルアセスメント	環境アセスメント学	作物栽培学			
卒業研究パッケージ					地域生態システム学特別演習Ⅰ	地域生態システム学特別演習Ⅱ	地域生態システム学特別演習Ⅲ

Ⅳ．授業科目と履修プログラムの対応

●:基本パッケージ科目　◆:個別必須科目　△:推奨科目　▲:履修を強く勧める科目

区分	科目名	開講年次	単位	パッケージ	生態系保全プログラム	森林科学プログラム	農業環境工学プログラム	共生持続社会プログラム	人と動物の共生プログラム	地域資源とガバナンスプログラム	地域防災・復興プログラム
学科共通科目	地域生態システム学特別演習Ⅰ	3後	1	卒業研究	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地域生態システム学特別演習Ⅱ	4前	1	卒業研究	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地域生態システム学特別演習Ⅲ	4後	2	卒業研究	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	フィールド安全管理学	1前	1	単独科目	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	情報処理学	1前	2	単独科目	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
パッケージ科目・推奨科目	生物多様性保全学	1後	1	単独科目	▲	▲	▲	▲	◆		
	水資源管理論	1後	2	単独科目	▲	▲	▲	▲		▲	△
	地域社会システム計画論	1後	2	地域計画	▲	▲	▲	▲		●	
	人と動物の関係論	1後	1	人と動物の関係	▲			●	●		
	動物福祉論	1後	1	人と動物の関係				●	●		
	地域社会調査法	2前	1	社会調査／地域社会			▲	◆		●	●
	バイオマス利用論	2前	2	単独科目	▲	△	△	▲		△	
	森林生態学	2前	2	森林保全／森林生物／森林立地	●	●		△	△	△	
	環境哲学	2前	2	共生と環境の思想／共生持続／地域社会			△	●	△	●	●
	測量学	2前	2	地形情報／空間情報A／空間情報B／空間情報基礎	●	●	●				●
	植生管理学	2前	2	植生管理	●	△		△	△		
	水文学	2前	2	山地保全A／山地保全B	△	●	△				●
	環境土壌物理学	2前	2	農地工学／地盤環境		△	●				●
	農業経済学	2前	2	単独科目				△			
	動物生態学	2前	1	野生動物保全	●				●		
	共生福祉論	2後	2	単独科目				◆		△	△
	環境生理生態学	2後	2	人間環境	●			△	△		
	野生動物保全学	2後	2	野生動物保全	●			△	●	△	
	森林計画学	2後	2	森林経営	△	●		△		△	△
	空間情報学	2後	2	地形情報／空間情報A／空間情報B／空間情報基礎	●	●	●				●
	土壌生態管理学	2後	2	単独科目	△	△	△				
	山地保全学	2後	2	山地保全A／山地保全B	▲	●					●
	森林生産システム学	2後	2	林業工学		●		△			
	GISの基礎と演習	2後	2	生態系管理／地形情報／空間情報A／空間情報B／空間情報基礎	●	●	●			△	●
	樹木学	2後	2	森林保全／森林生物	●	●					
	力学Ⅰ	2後	2	力学基礎		△	●				
	土質力学	2後	2	力学基礎		△	●				△

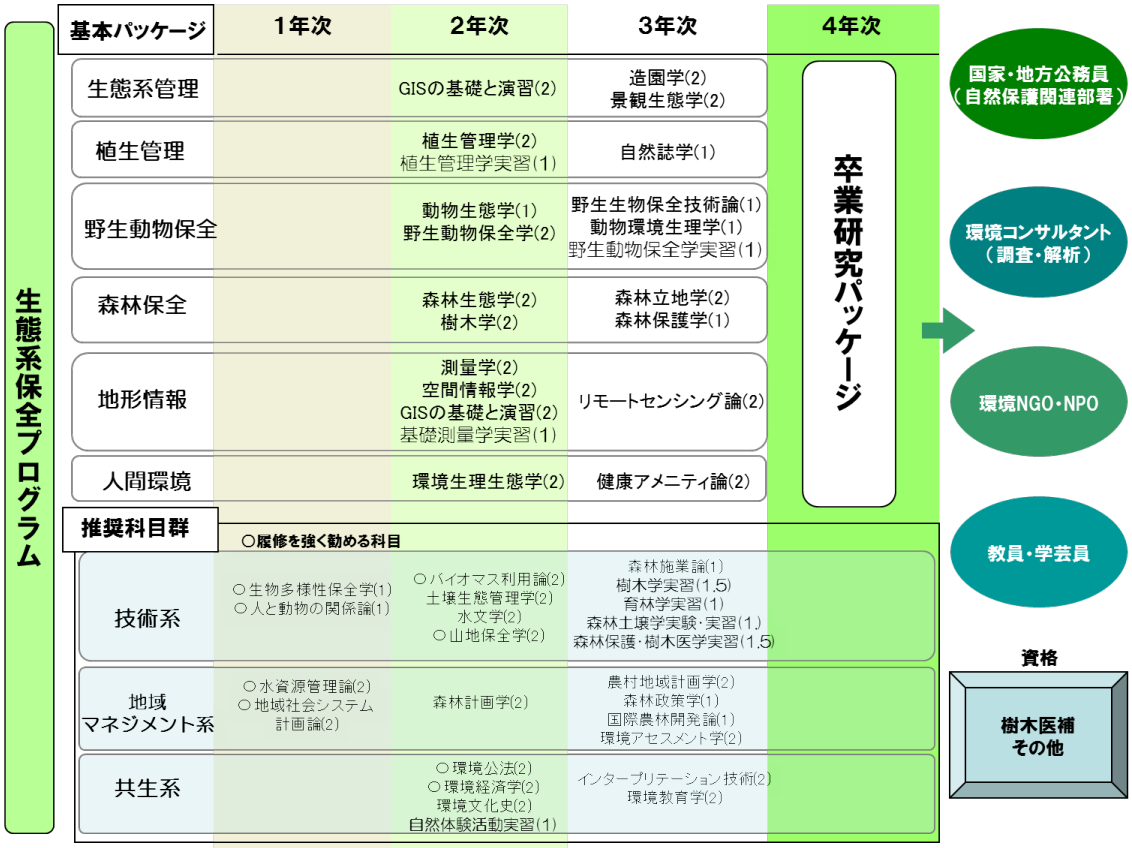
区分	科目名	開講年次	単位	パッケージ	生態系保全プログラム	森林科学プログラム	農業環境工学プログラム	共生持続社会プログラム	人と動物の共生プログラム	地域資源とガバナンスプログラム	地域防災・復興プログラム
パッケージ科目・推奨科目	水理学	2後	2	力学基礎			●				△
	農村地域計画学	2後／3後	2	地域計画	△		▲	▲		●	△
	農業技術論	2後	1	生産工学		△	●			△	
	応用解析・情報学	2後	2	解析・実験・実習系			●				
	環境文化史	2後	2	環境の歴史と社会／共生持続	△			●		●	△
	環境公法	2後	2	環境政策／共生持続／地域社会	▲		▲	●		●	●
	環境経済学	2後	2	環境政策	▲		△	●			
	農業経営学	2後	2	単独科目				△		△	
	比較心理学	3前	1	比較動物心理				●	●		
	比較行動学	3前	1	比較動物心理				●	●		
	農村社会論	3前	2	環境の歴史と社会／地域計画／地域社会		▲	△	●		●	●
	健康アメニティ論	3前	2	人間環境	●			▲	△		
	インタープリテーション技術	3前	2	環境教育	△	△		●		●	
	景観生態学	3前	2	生態系管理	●	△		△		▲	△
	動物環境生理学	3前	1	野生動物保全	●				●		
	リモートセンシング論	3前	2	地形情報／空間情報A／空間情報B	●	●	●				△
	森林施設工学	3前	2	林業工学		●					
	砂防工学	3前	2	山地保全A／山地保全B		●					●
	農地環境工学	3前	2	農地工学			●				△
	環境地盤工学	3前	2	地盤環境			▲				●
	生物生産環境学	3前	1	生産工学			●				
	農用原動機学	3前	1	単独科目			▲				
	熱工学	3前	2	力学基礎			●				
	農業情報気象学	3前	2	生産工学		△	●				△
	環境教育学	3前	2	環境教育	△			●		●	
	国際協力論	3前	1	国際関係				●			
	農業市場学	3前	2	単独科目				△		△	
	生態水理学	3前	2	単独科目			▲			△	
	森林施業論	3前	1	森林生物／森林立地	△	●					
	森林立地学	3後	2	森林保全／森林立地	●	●					
	力学Ⅱ	3後	2	力学基礎		△	●				
	環境倫理学	3後	2	共生と環境の思想				●	△	△	△
	野生生物保全技術論	3後	1	野生動物保全	●	△		△	●	△	

区分	科目名	開講年次	単位	パッケージ	生態系保全プログラム	森林科学プログラム	農業環境工学プログラム	共生持続社会プログラム	人と動物の共生プログラム	地域資源とガバナンスプログラム	地域防災・復興プログラム
パッケージ科目・推奨科目	造園学	3後	2	生態系管理	●	△		△		△	△
	自然誌学	3後	1	植生管理	●	△		△	△		
	森林保護学	3後	1	森林保全／森林生物	●	●					
	森林政策学	3後	1	森林経営	△	●		△	△	△	△
	木質資源利用学	3後	2	単独科目		◆					
	農産プロセス工学	3後	1	生産工学			●				
	灌漑排水工学	3後	2	農地工学			●				
	共生社会思想	3後	1	共生と環境の思想				●		△	
	国際農林開発論	3後	1	国際関係	△		▲	●		△	△
	ライフサイクルアセスメント	3後	2	単独科目		△					
	環境アセスメント学	3後	2	単独科目	△			▲			
	持続的森林管理論	4前	1.5	森林経営		●					
	作物栽培学	4前	2	単独科目			△				
実験・実習科目	基礎測量学実習	2前	1	地形情報／空間情報A／空間情報B	●	●	●				
	地域社会システム調査実習	2前	1	社会調査				◆		●	
	自然体験活動実習	2前	1	環境教育	△			●		●	
	植生管理学実習	2通年	1	植生管理	●						
	森林計画学実習	2後	1	森林経営		●					
	山地測量学実習	2後	1	空間情報A		●					
	空間情報学実習	2後	1	空間情報B			●				
	育林学実習	3前	1	森林立地	△	●					
	山地保全・砂防計画学実習	3前	1.5	山地保全A		●					
	樹木学実習	3前	1.5	森林生物	△	●					
	農業環境工学実験	3前	2	解析・実験・実習系			●				
	農業環境工学実習	3前	2	解析・実験・実習系			●				
	農村地域計画学演習	3前	1	単独科目			△	△		△	△
	野生動物保全学実習	3前	1	野生動物保全	●				●		
	比較行動学実験・実習	3前	1	比較動物心理				●	●		
	森林保護・樹木医学実習	3後	1	森林生物	△	●					
	森林土壌学実験・実習	3後	1	単独科目	△	▲					
	森林生産システム学実習	3後	2	林業工学		●					
	農業環境工学演習	3後	1.5	解析・実験・実習系			●				
	CAD設計演習	3後	2	単独科目			△				

Ⅴ．履修プログラム概要

１．生態系保全プログラム

自然生態系の保全と管理に関わる諸問題の現場解決能力（情報収集、解析、デザイン）を養うと同時に、自然環境保全、野生生物管理を実践する専門家の養成を目指す。

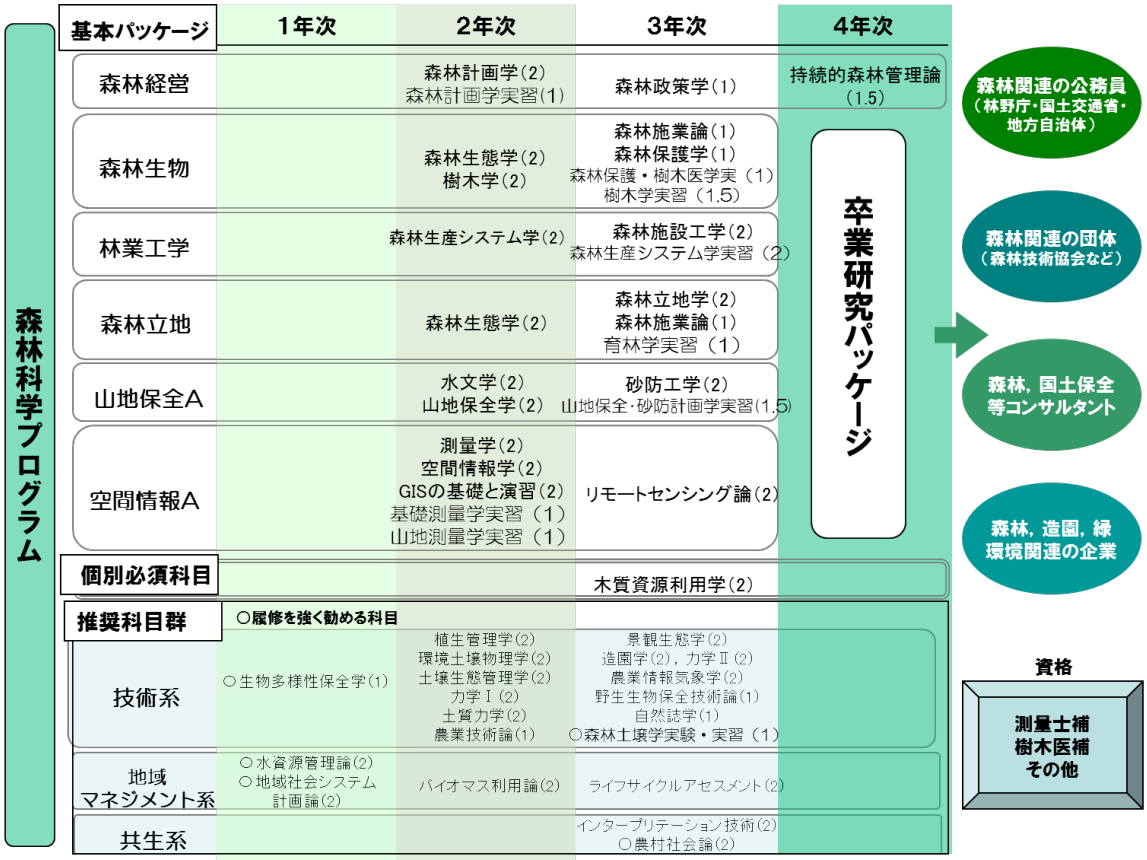


＜修了要件＞

基本パッケージのすべて（34 単位）と、推奨科目から 16 単位以上を修得し、
地域生態システム学科を卒業すること。

２．森林科学プログラム

森林と森林環境の創造および設計ができる森林・林業の知識と技術を修得し、森林をとりまく諸問題の現場解決能力（情報収集、解析、デザイン）を養うと同時に、森林を様々な側面から理解できる豊かな人間性と国際感覚を養成するための教育を行う。

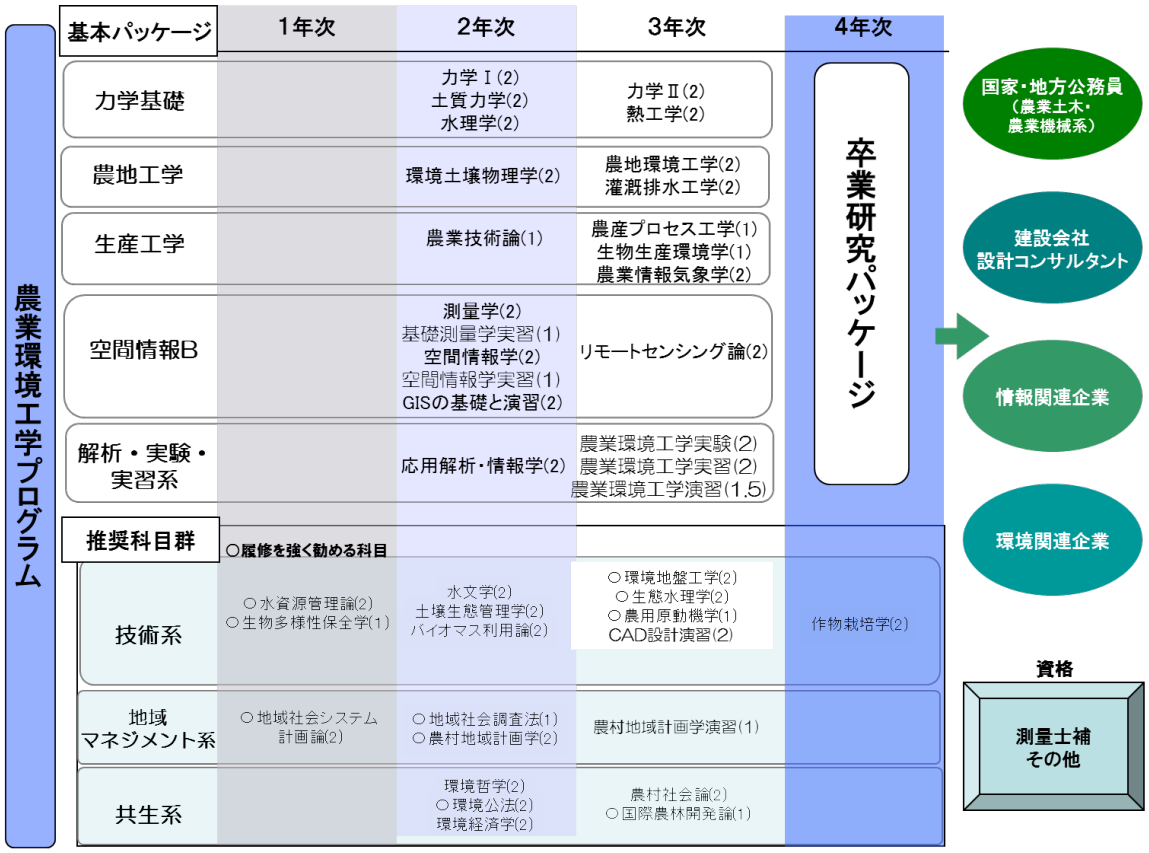


＜修了要件＞

基本パッケージと個別必須科目のすべて（42.5 単位）と、推奨科目から 10 単位以上を修得し、地域生態システム学科を卒業すること。

３．農業環境工学プログラム

都市・農村における生産環境、自然環境、生活環境の調和を図る地域環境整備、及び生産性向上と環境保全を同時に解決する持続的食料生産システム構築を担う農業環境工学の専門家養成を目指す。

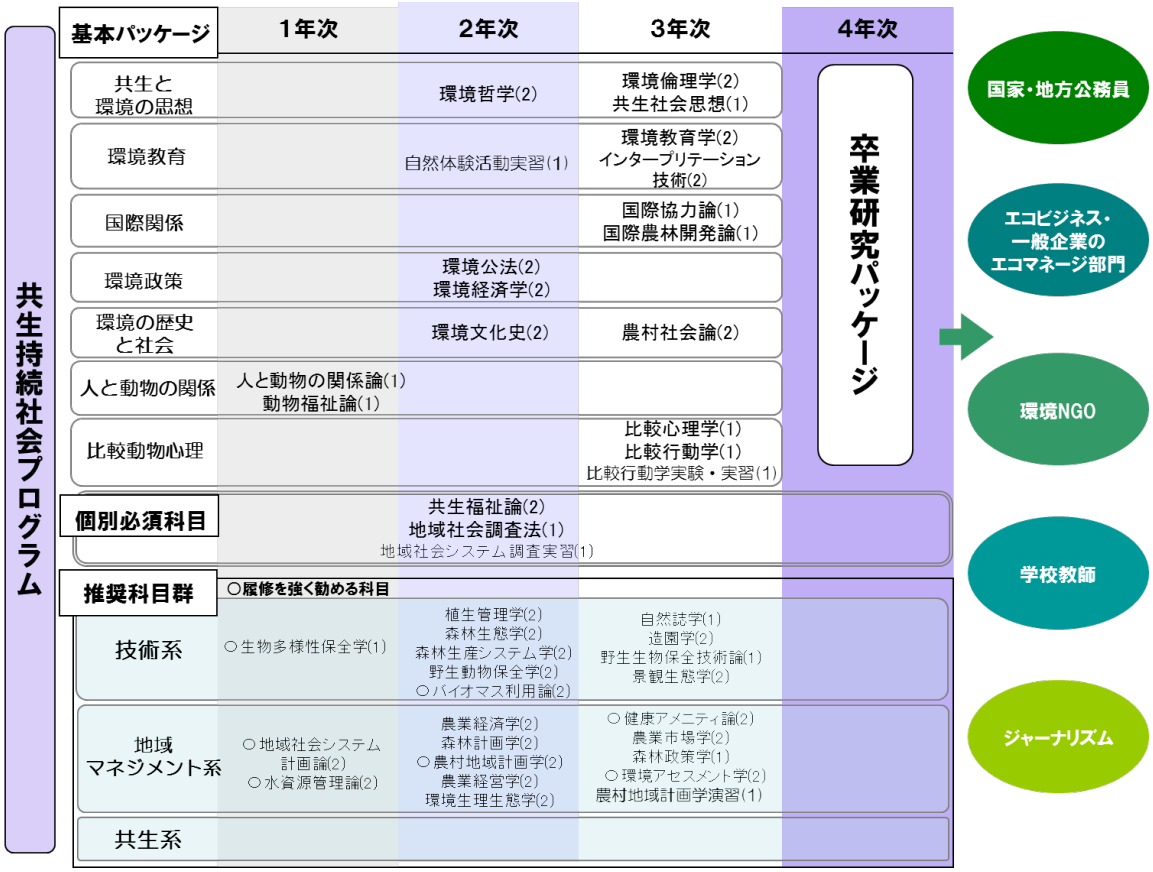


＜修了要件＞

基本パッケージのすべて(38.5 単位)と、推奨科目から 16 単位以上を修得し、
地域生態システム学科を卒業すること。

４．共生持続社会プログラム

地域の社会・経済・文化・歴史に関する人文社会科学的な調査・分析の能力を身につけると同時に、人と自然、人と人との共生についてビジョンを描く豊かな思考力と想像力を養成するための教育を行う。



＜修了要件＞

基本パッケージと個別必須科目のすべて(29 単位)と、推奨科目から 21 単位以上を修得し、地域生態システム学科を卒業すること。

５．人と動物の共生プログラム

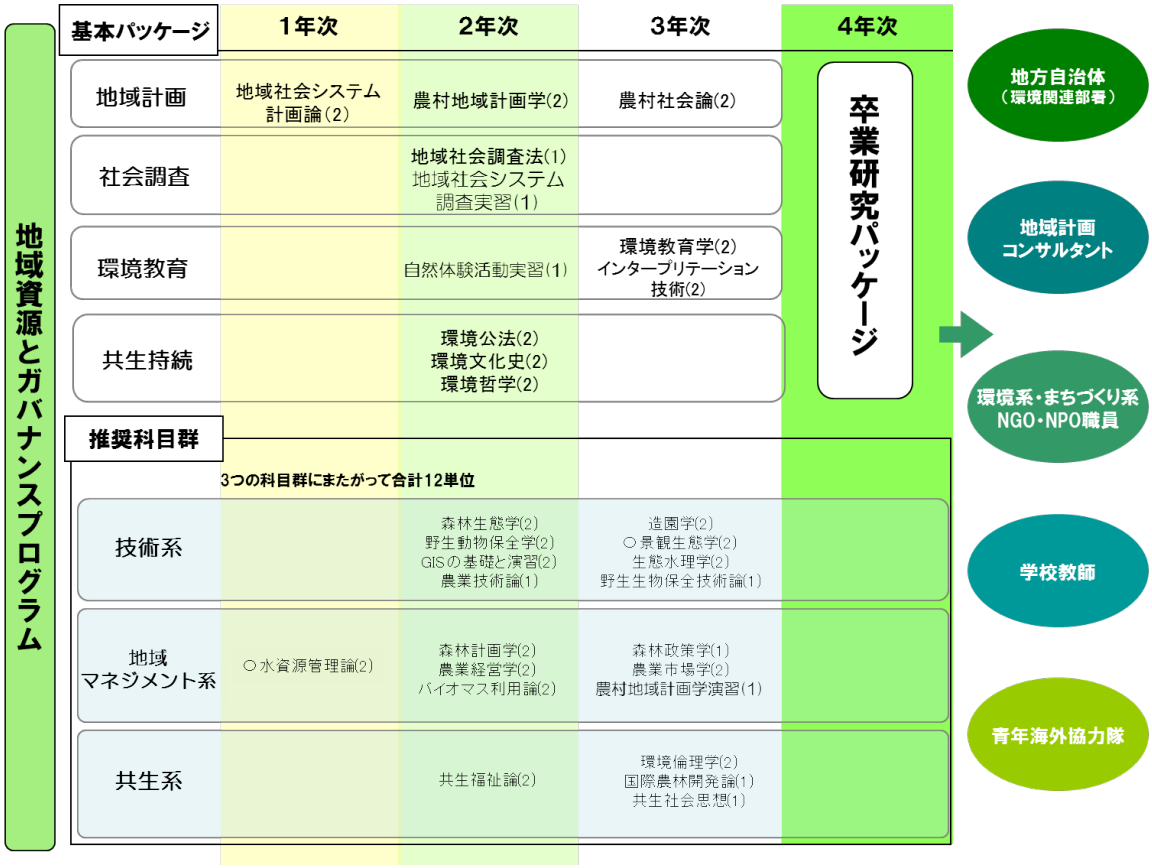
人の生活圏から離れたところに生活する野生動物の保護管理および飼育動物など人の生活圏の中にある動物との関係性の再認識等を通じての動物と人との共生社会の実現を目指す。

＜修了要件＞

基本パッケージと個別必須科目のすべて(12 単位)と、推奨科目から 3 つの科目群にまたがって 8 単位以上を修得し、地域生態システム学科を卒業すること。

６．地域資源とガバナンスプログラム

地域における生態系と社会の持続可能性の維持のためには、様々な主体の合意のもとに自然資源管理計画・景観計画・土地利用計画・地域振興計画を策定し、様々な主体の連携・共同によって諸政策を実行する能力が必要となる。そのために地域の持つ歴史的・文化的・生態的特性を認識し、ガバナンスの各過程を主導的に担う人材の育成を目指す。

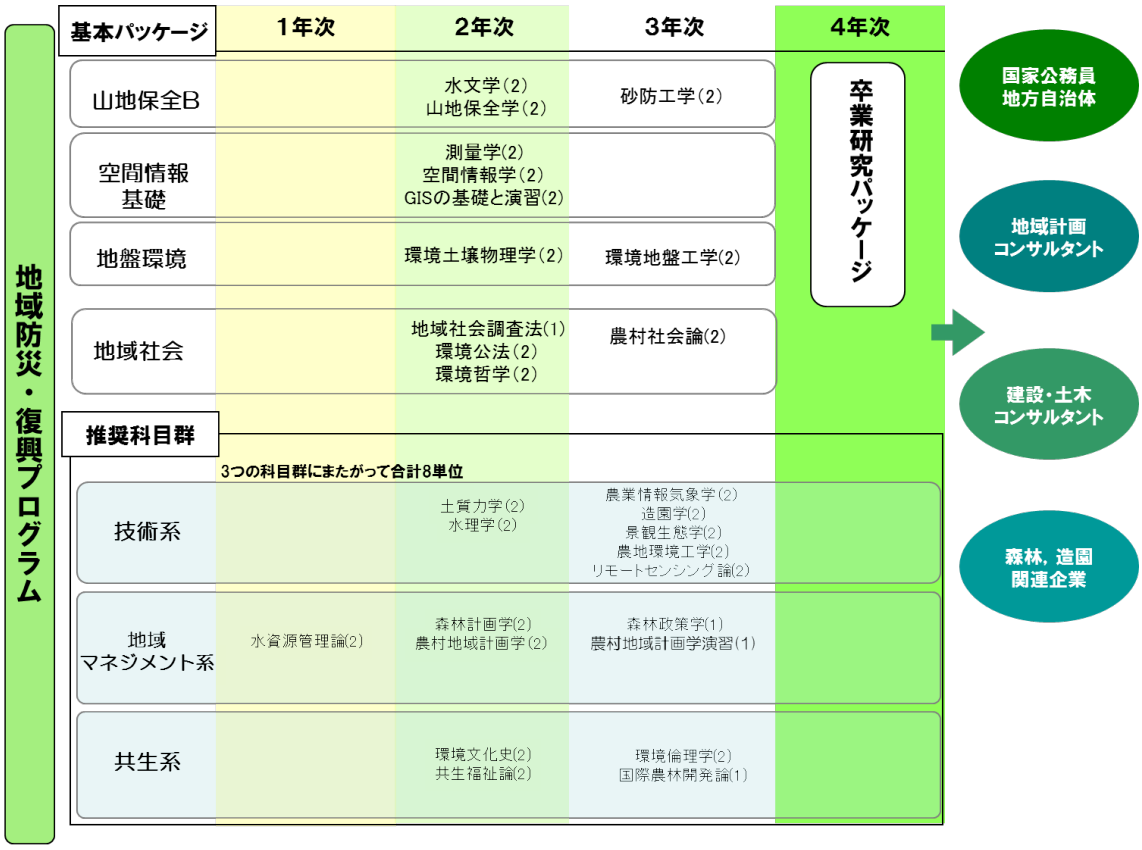


＜修了要件＞

基本パッケージのすべて(19 単位)と、推奨科目から 3 つの科目群にまたがって 12 単位以上を修得し、地域生態システム学科を卒業すること。

７．地域防災・復興プログラム

大震災、台風や集中豪雨などによる自然災害に対し脆弱な地域社会において、災害に強く、被災後に社会機能の回復が速やかに進む地域構築のために、自然科学および社会科学の素養をもち、専門的知識を横断的に展開できる広い視野と実行力をもつ人材の育成を目指す。



＜修了要件＞

基本パッケージのすべて(23 単位)と、推奨科目から 3 つの科目群にまたがって 8 単位以上を修得し、地域生態システム学科を卒業すること。